



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL https://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,229	△3.7	1,807	△26.3	1,968	△25.4	1,095	△30.3
2019年3月期第3四半期	32,422	8.1	2,453	41.5	2,639	44.8	1,571	56.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,264百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △482百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	32.35	—
2019年3月期第3四半期	46.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	58,506	46,043	74.3
2019年3月期	57,742	45,689	74.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 43,442百万円 2019年3月期 43,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
2020年3月期	—	10.00	—		
2020年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当6円

2020年3月期配当金(予想)につきましては、2019年5月8日に「2019年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	5.7	4,000	2.5	4,100	0.0	2,450	△2.2	72.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	34,536,635株	2019年3月期	34,536,635株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	657,113株	2019年3月期	674,539株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	33,872,174株	2019年3月期3Q	33,862,242株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、米中貿易摩擦による各国の景気減速や、英国でのEU離脱後の見通しの不確実性等、依然として今後の世界経済全体での先行きの不透明感は拭えず、その動向に引き続き留意が必要な状況にあります。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動を行っております。国内では、「音の報せる力」を強みとする当社ならではの視点で、引き続き商品のラインアップの拡充やバージョンアップを実施し、特にAI、IoTの技術を取り入れた新たな商品の市場導入を進めております。また、世界5地域でのマーケティング機能を強化させ、それぞれの市場ニーズに応えた商品開発の更なる加速と販路の拡充を継続して行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は31,229百万円（前年同四半期比△1,193百万円、3.7%減）となりました。利益については、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は1,807百万円（前年同四半期比△645百万円、26.3%減）、経常利益は1,968百万円（前年同四半期比△671百万円、25.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,095百万円（前年同四半期比△475百万円、30.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、報告セグメントの算定方法を第1四半期連結会計期間より変更いたしました。この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間を変更後の算定方法により比較算出しております。詳細については、後述の【セグメント情報】に記載しております。

(日本)

売上高は19,611百万円（前年同四半期比△299百万円、1.5%減）、セグメント利益（営業利益）は3,982百万円（前年同四半期比△34百万円、0.9%減）となりました。

減災・防災市場で好評頂いている「ホーンアレイスピーカー」や、「防災用スリムスピーカー」の自治体向け販売が伸長しました。また、映像機器の販売が堅調に推移しましたが、鉄道車両向けの受注済案件の納期変更などを受け、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は5,456百万円（前年同四半期比+109百万円、2.0%増）、セグメント利益（営業利益）は995百万円（前年同四半期比+16百万円、1.7%増）となりました。

タイでは地下鉄案件などの交通インフラ市場向けの納入が進みました。インドネシアでは官公需向け案件の多数の納入が進み、売上高、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は3,317百万円（前年同四半期比△875百万円、20.9%減）、セグメント利益（営業利益）は439百万円（前年同四半期比△378百万円、46.3%減）となりました。

欧州・中東地域の景気減速に伴う売上高減少に加え、為替円高による影響と大型案件の減少もあり、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は1,571百万円（前年同四半期比△90百万円、5.4%減）、セグメント利益（営業利益）は88百万円（前年同四半期比△116百万円、56.9%減）となりました。

アメリカでの小売店向け音響機器の販売が伸び悩み、売上高は減少しました。売上高の減少や販売費及び一般管理費の増加により、セグメント利益は減少しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,271百万円（前年同四半期比△36百万円、2.8%減）、セグメント利益（営業利益）は175百万円（前年同四半期比△29百万円、14.3%減）となりました。

中国では空港向けなどの大型案件の納入が進みましたが、セグメント全体での大型案件の減少などにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は58,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ763百万円の増加となりました。資産の部は、現金及び預金と売上債権の減少などありましたが、有形固定資産の増加などにより増加しました。負債の部及び純資産の部における増加の要因は、短期借入金の増加などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月8日に「2019年3月期決算短信」にて公表しております当初予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,014	14,692
受取手形及び売掛金	10,305	8,034
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	6,175	7,366
仕掛品	846	1,288
原材料及び貯蔵品	2,994	3,232
その他	671	1,302
貸倒引当金	△85	△58
流動資産合計	41,423	39,358
固定資産		
有形固定資産	7,747	9,999
無形固定資産	1,703	1,472
投資その他の資産		
投資有価証券	5,524	6,263
投資その他の資産	1,345	1,414
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	6,869	7,676
固定資産合計	16,319	19,148
資産合計	57,742	58,506
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,066	3,624
短期借入金	934	1,553
未払法人税等	417	159
引当金	182	259
その他	2,472	2,356
流動負債合計	8,073	7,953
固定負債		
退職給付に係る負債	2,625	2,652
その他	1,354	1,856
固定負債合計	3,979	4,509
負債合計	12,053	12,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,879
利益剰余金	29,050	29,265
自己株式	△394	△385
株主資本合計	40,802	41,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,250	3,760
為替換算調整勘定	△868	△1,393
退職給付に係る調整累計額	23	34
その他の包括利益累計額合計	2,404	2,402
非支配株主持分	2,481	2,600
純資産合計	45,689	46,043
負債純資産合計	57,742	58,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	32,422	31,229
売上原価	18,129	17,272
売上総利益	14,292	13,956
販売費及び一般管理費	11,839	12,148
営業利益	2,453	1,807
営業外収益		
受取利息	41	29
受取配当金	88	95
為替差益	—	5
その他	118	89
営業外収益合計	248	219
営業外費用		
支払利息	32	50
為替差損	16	—
その他	11	8
営業外費用合計	61	58
経常利益	2,639	1,968
特別損失		
解体撤去費用	—	48
特別損失合計	—	48
税金等調整前四半期純利益	2,639	1,919
法人税等	736	562
四半期純利益	1,903	1,357
非支配株主に帰属する四半期純利益	331	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,571	1,095

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	1,903	1,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,062	510
為替換算調整勘定	△310	△616
退職給付に係る調整額	△13	13
その他の包括利益合計	△2,385	△93
四半期包括利益	△482	1,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△750	1,093
非支配株主に係る四半期包括利益	267	171

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(IFRS第16号)を適用しております。これにより、借手のリース取引は、原則として全てのリースについて資産および負債を計上することとしました。

この結果、第1四半期連結会計期間期首の有形固定資産が472百万円、流動及び固定負債のその他が476百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,911	5,347	4,193	1,661	1,308	32,422	—	32,422
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,754	79	9	11	14	2,870	△2,870	—
計	22,666	5,427	4,202	1,673	1,322	35,292	△2,870	32,422
セグメント利益	4,017	979	818	205	204	6,225	△3,771	2,453

(注)1. セグメント利益の調整額△3,771百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,786百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,611	5,456	3,317	1,571	1,271	31,229	—	31,229
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,988	84	11	7	26	3,118	△3,118	—
計	22,600	5,541	3,329	1,578	1,298	34,347	△3,118	31,229
セグメント利益	3,982	995	439	88	175	5,681	△3,874	1,807

(注)1. セグメント利益の調整額△3,874百万円には、セグメント間取引消去44百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,918百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社主導の機能とその管理区分をより明確にするため、従来「アジア・パシフィック」、「中国・東アジア」に含めておりました生産機能、および「アメリカ」に含めておりました鉄道車両関連機器の販売機能を、「日本」に含めております。

また、「アジア・パシフィック」、「欧州・中東・アフリカ」、「アメリカ」、「中国・東アジア」の業績をより適切に把握するため、当社が各セグメントに向けて行った営業取引を含めております。

この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。